

建築デザインを考える

Introduction of Architectural Design

対面

科目提供大学名	武庫川女子大学
担当教員	岩田 章吾 (生活環境学部 生活環境学科 教授)
単位数	2 単位
最大授業定員	54 名
開講学期	後期 1 時限 (10:50 ~ 12:20) 水曜日 (9月29日 ~ 1月19日、11月3日の休日は授業実施、12月24日 ~ 1月6日は冬休み期間)
成績評価	出席、レポート、授業中の小テストによって、総合的に評価する。
テキスト	授業中に適宜配布する。
参考文献	特になし
授業以外の学習方法	指定された課題を予習または復習しておく。 身の回りの建築に興味を持ち、よく観察する。
その他の特記事項	講義内容、およびその順序は、授業の理解度などに応じて若干変更することがある。
講義概要	いわゆる実用芸術である建築の意匠デザインは建築家の主観のみによって決定されるのではないことは言うまでもない。しかし、そのデザインは具体的な設計条件や規範だけでなく、社会、文化、歴史などの領域の様々な要因によって規定されている。この講義では、これらの要因とそれが建築デザインをどのように規定しているかを分析し、建築デザインという行為の意義や意味について考察する。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none">1. 建築デザインを考える 1: イントロダクション2. 建築デザインを考える 2: 近代建築と近代3. 建築デザインを考える 3: はじまりの建築4. 建築デザインを考える 4: 家と都市5. 建築デザインを考える 5: 形と形式6. 建築デザインを考える 6: モラリティと建築7. 建築デザインを考える 7: 記憶と建築8. 建築デザインを考える 8: 光と建築9. 建築デザインを考える 9: 境界を考える10. 建築デザインを考える 10: 時と建築11. 建築デザインを考える 11: 「すべては建築である」12. 建築デザインを考える 12: 身体と建築13. 建築デザインを考える 13: 言葉と建築14. 建築デザインを考える 14: 空間と場15. 建築デザインを考える 15: 「建築」以後の建築